



その感動のウラに、富士ダイス。

富士ダイスは1949年の創業以来、
ものづくりに不可欠な超硬耐摩耗工具を開発・製造し、
暮らしと産業の進化を支え続けてきました。

感動の瞬間を写し出すカメラ、
仲間と飲んだ缶ビール、家族を乗せて走ったマイカー。
忘れられない体験を彩る製品のウラにはいつも富士ダイスがいる。
私たちがつくりたいのは、今日よりもちょっといい明日。
お客様の課題にとことん向き合うことで生まれる発想や、
記憶に残るサービス。

富士ダイスは、人と素材と技術の力で、
世界中に感動体験をお届けする企業へと進化し続けます。

代表取締役社長

津田雅宣

代表取締役会長

春田善和

TOP MESSAGE

代表取締役2名体制のもと、経営環境の変化に柔軟に対応し、持続的な成長の実現と株主還元の充実に努めてまいります。

平素より株主の皆様にはご支援を賜りまして、心より御礼申し上げます。当社グループは今年6月6日に創業77周年を迎えました。これもひとえに、株主の皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

6月24日より、当社グループは、持続的成長と企業価値向上の実現に向けて経営体制の一層の強化・充実を図るため、代表取締役2名体制へと移行いたしました。それぞれの役割と責任を明確にしつつ、両名が一体となって経営を推進することで、経営判断の質とスピードを高めてまいります。

当社グループは、2024年5月に2025年3月期から2027年3月期を対象とする「中期経営計画2026」を策定し、「変化に対応できる企業体質への転換」を方針にかけ、重点施策を推進しております。2年目となる2026年3月期は、ロボットの導


入を含む自動化や海外での展示会出展などを進めるとともに、地政学的リスクに起因する資源・エネルギー価格の高騰への対応として、新合金【サステロイ STN30】の開発や超硬耐摩耗工具・金型のリサイクル事業の立ち上げなどに取り組んでまいりました。

今年度、2027年3月期は「中期経営計画2026」の最終年度となります。中東情勢の緊迫化や資源価格の変動など、不確実性が高まる経営環境においても、当社グループは変化に柔軟に対応し、持続的な成長の実現と株主還元の充実に取り組んでまいります。

株主の皆様には、今後も一層のご理解・ご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

売上高

174億円

(前期比5.1% )

165 174 (億円)



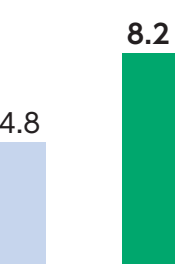
2025年3月期 2026年3月期

営業利益

8.2億円

(前期比68.5% )

4.8 8.2 (億円)



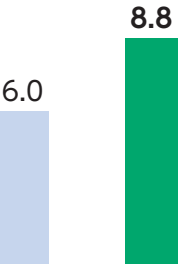
2025年3月期 2026年3月期

経常利益

8.8億円

(前期比46.5% )

6.0 8.8 (億円)



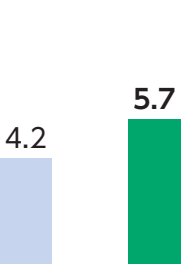
2025年3月期 2026年3月期

親会社株主に帰属する当期純利益

5.7億円

(前期比34.6% )

4.2 5.7 (億円)



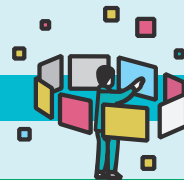
2025年3月期 2026年3月期

期末配当

40円

配当方針

「中期経営計画2026」の期間における配当方針は「株主資本配当率(DOE)4%」を目標としております。2026年3月期の配当は財政状態等を勘案し、期初の予定どおり前期の配当と同額の一株当たり40円といたしました。



2025年“超”モノづくり部品大賞「生活・社会課題ソリューション関連部品賞」を受賞



当社が開発した【電気化学反应用高性能電極[PME]】が、モノづくり日本会議／日刊工業新聞社主催の「2025年“超”モノづくり部品大賞」において「生活・社会課題ソリューション関連部品賞」を受賞しました。

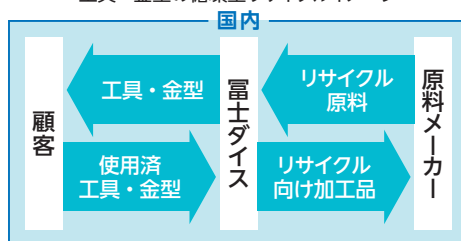
本製品は、水の電気分解によって次世代エネルギーとして期待される水素を生成する装置などに用いられる電極です。装置に組み込むことで従来の電極と比べて、消費電力を1割～2割削減できる可能性があり、カーボンニュートラル(温室効果ガス排出量実質ゼロ)の実現への貢献が期待されています。現在、装置メーカーにおいて評価・検証が進められており、2027年度の製品化を目指しています。

超硬耐摩耗工具・金型のリサイクル事業を始動

新規事業の一環として、超硬耐摩耗工具・金型のリサイクル事業を立ち上げました。昨年10月よりモデル地域を設定し、工具・金型の回収を開始、対象地域を順次拡大しています。

切削工具分野では超硬合金のリサイクルが進んでいる一方、耐摩耗工具や金型は大型で鋼部品などを含むため、分解や処理に手間がかかるという課題がありました。当社は、耐摩耗工具・金型の製造で培ってきたノウハウと顧客ネットワークを活用し、超硬耐摩耗工具・金型の国内循環型リサイクルの実現を目指しています。さらに、地域偏在性の高いレアメタルをリサイクルによって有効活用することで、原料調達リスクの低減を図っていきます。

工具・金型の循環型リサイクルイメージ



ESGの取り組み

Environment 環境 郡山製造所に太陽光発電設備を導入

当社グループでは、脱炭素社会の実現に向け、省エネルギーの推進およびCO₂排出量の削減を目的として、様々な取り組みを行っています。その取り組みの一つとして、今年2月より郡山製造所に太陽光発電設備を導入しました。本件は、北関東営業所およびタイの現地子会社FUJILLOY (THAILAND) CO., LTD.に次いで3か所目の導入になります。

2025年度はそのほか、熊本製造所では空調室外機への遮熱・断熱塗料の活用、岡山製造所では空調制御装置の導入により、省エネルギー化を進めました。今後も、自社設備の省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入などを継続的に推進してまいります。



Social 社会 大田区の小学校児童向け「超硬合金とくらし」についての出前授業を実施



地域に根ざした取り組みとして、3月16日に本社所在地である大田区の近隣の立矢口東小学校にて出前授業を行いました。小学3年生を対象に、超硬合金製の工具・金型の製造工程や、それらが身近な製品づくりにもどのように使われているかを、クイズ形式でわかりやすく紹介しました。

出前授業では、子どもたちにとって一番身近な飲料缶の製造に使われる工具を展示し、一人ひとりに超硬合金のサンプルを手を持ってもらいました。超硬合金の実際の重さを体感した子どもたちからは、「すごい! 重たい!」「思ったよりずっしりしてる!」などといった、驚きの声があがりました。



第70回 定時株主総会決議ご通知について

詳しくはこちら▶

本年6月24日開催の当社第70回定時株主総会の決議ご通知を当社ホームページに掲載しております。



2年目(2026年3月期)の取り組み状況

1 経営基盤の強化

- 昨年6月より、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社に移行
- 昨年7月、100年企業を目指して、グループ企業理念を見直しビジョンを新たに策定
- 3月、ワークフローシステムを導入・運用開始

2 生産性向上・業務効率化

予定どおり全案件の自動化投資(1億6,000万円)を完了

- 熊本製造所**
- 冶金工程の成形加工機に産業用ロボットを追加導入、1月より本格稼働
 - 研磨加工作業に自動化ロボットを昨年8月よりテスト導入、昨年11月より本格稼働
 - 部品どりを自動で最適化するシステムを昨年7月より本格稼働
- 岡山製造所**
- 自動床洗浄ロボットを昨年5月より導入、2月より他拠点に横展開
- 郡山製造所**
- 冶金工程の粉末成形プレス機にロボットアームを追加、昨年12月導入、テスト稼働中
焼結用カーボンケースへの充填作業を自動化
- 秦野工場**
- 研削加工に自動化ロボットを導入、2月より本格稼働
 - プラグ製作工程に自動ろう付装置を導入、1月より本格稼働

3 海外事業の飛躍

- 中国**
- 東莞支店の知名度向上と拡販を目指し、華南エリアを中心に積極的に展示会に出展
 - 光学機器関連は、車載およびスマホ向けが堅調、監視カメラ向け需要回復も重なり好調に推移
- アセアン**
- タイは、メインの輸送機器が芳しくない中で、輸送機器以外の製品群の拡販を強化
 - インドネシアは、欧米系・現地法人向けに電池関連を拡販
- 北米**
- 売上拡大を目指し、新規マーケットの獲得のため、市場調査を継続
- インド**
- 事業再開プロジェクトを発足、市場調査と現地拡販活動を強化
 - 1月にベンガルールで開催された「IMTEX FORMING 2026 - International Forming Technology Exhibition -」に出展



「IMTEX FORMING 2026」

4 脱炭素・循環型社会への貢献

- 次世代エネルギー**
- 【電気化学反応用高性能電極「PME」】が「2025年“超”モノづくり部品大賞」において「生活・社会課題ソリューション関連部品賞」を受賞
- 次世代光通信**
- 超精密加工技術を活かし、データセンターなどの次世代光通信で使用される「光ファイバアレイ」用金型へ展開
- 省資源**
- 地政学的リスクが懸念されるレアメタルの使用量を大幅削減した新合金【サステロイ STN30】を昨年10月より本格販売



新合金
【サステロイ STN30】

5 新規事業の確立

- 超硬耐摩耗工具・金型のリサイクル事業を始動



中期経営計画2026のコンセプト

変化に対応できる企業体質への転換

国内事業は成長の基盤(安定的に成長)、成長を牽引するのは海外事業
将来の成長基盤の育成として新事業の実現という方向性

1 経営基盤の強化

2 生産性向上・業務効率化

3 海外事業の飛躍

4 脱炭素・循環型社会への貢献

5 新規事業の確立

既存事業領域

新規事業領域

利益率向上

売上拡大

■ 当社を取り巻く経営環境への対応

超硬合金の主原料となるタングステンの世界的供給不足や価格の変動、中東情勢の緊迫化など
不確実性が高まる経営環境に対応



■ ダイジェット工業株式会社との業務提携の検討を開始

タングステン・コバルトなどのレアメタルの地政学的リスクの低減は当社のみならず、業界全体の課題であると考え、当社と同様にタングステンとコバルトを含まない合金【サーメタル】を開発しているダイジェット工業株式会社との間で業務提携の検討を開始することといたしました。各々が開発した重要鉱物であるタングステンとコバルトの使用量を削減した合金に関して、両社の販売ネットワークを活用した販路拡大に向けた検討を開始する予定です。詳細は、5月15日に公表したリリース「ダイジェット工業株式会社との業務提携の検討開始に関するお知らせ」をご確認ください。

詳細はこちらから▶

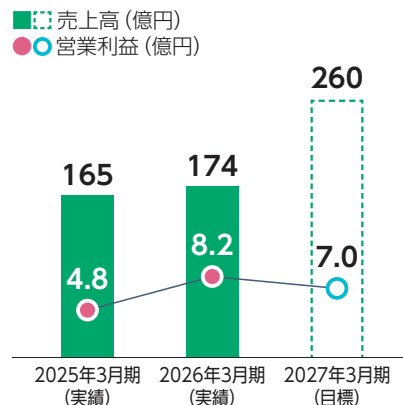


■ 数値目標(2027年3月期)

連結売上高	営業利益	経常利益率	ROE
260億円	7.0億円	3.0% (経常利益7.8億円)	2.6%

2026年3月期は、超硬素材販売が好調に推移したことにより、売上高は業績予想に対してわずかに未達となったものの前期比で増加しました。営業利益は、売上高の増加、効率化施策による外注加工費の削減や電力・燃料費の減少により増益となりました。

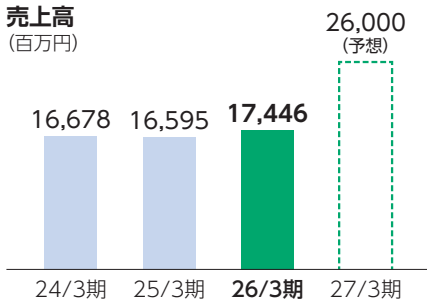
2027年3月期は中期経営計画最終年度ですが、経営環境の変化を踏まえ計画値を修正いたしました。売上高は、原材料費の高騰に対応するための価格改定により、前期比で増加する見込みです。一方、営業利益は、原材料費高騰の影響および価格改定による販売数量の減少を見込み、前期比で減少する見通しです。資本コストと株価を意識した経営の実現と中長期的な企業価値の向上を目指し、重要施策を確実に実行するとともに、経営環境の変化に対応するため、材料利用の効率化やリサイクル、代替材料の研究、調達先の複線化および価格改定を着実かつ迅速に推進してまいります。



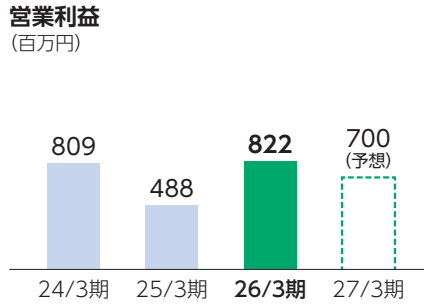
会社概要／株式の状況

連結決算データ

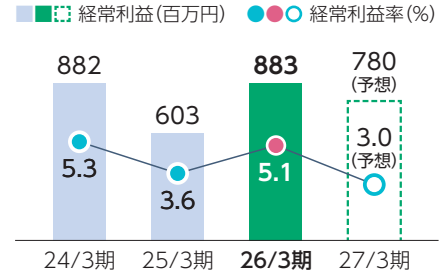
売上高
(百万円)



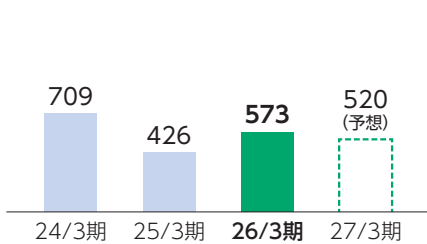
営業利益
(百万円)



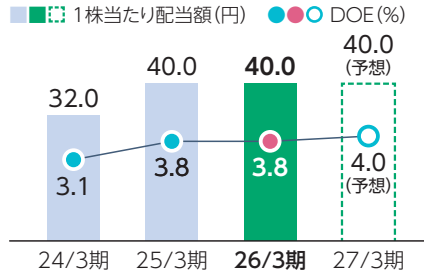
経常利益／経常利益率



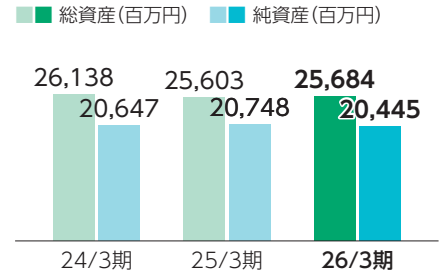
親会社株主に帰属する当期純利益
(百万円)



1株当たり配当額／DOE



総資産／純資産



会社概要 (2026年3月31日現在)

社名 富士ダイス株式会社
 創業 1949年6月6日
 本社所在地 〒146-0092 東京都大田区下丸子2-17-10
 資本金 164百万円
 拠点 営業拠点10 生産拠点7
 グループ会社 国内2社 海外5社
 従業員 1,078人(連結)

株式の状況 (2026年3月31日現在)

発行可能株式総数 80,000,000株
 発行済株式総数 20,000,000株
 株主数 13,311名(前年同期末比5,811名増)
 所有者別株式分布



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から3月31日まで
 定時株主総会 毎事業年度終了後3ヶ月以内
 株主確定基準日 毎年3月31日
 剰余金の配当基準日 毎年3月31日および9月30日
 株式の売買単位 100株
 証券コード 6167
 上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 株主名簿管理人連絡先 東京都府中市日鋼町1-1
 電話 0120-232-711(通話料無料)
 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 公告方法 電子公告により行います。ただし電子公告によること
 ができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
 公告掲載URL <https://www.fujidie.co.jp/>

IRカレンダー



富士ダイス株式会社

〒146-0092 東京都大田区下丸子2-17-10
 TEL:03-3759-7182 <https://www.fujidie.co.jp/>



トップページ



投資家情報



本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は、当社の予想と異なることがありますので、ご承知おきください。